

法律の成り立ちから考える なぜ喫煙と飲酒は20歳からなのか？

2022年4月、民法改正により成年年齢が20歳から18歳に引き下げられ、携帯電話の契約や、クレジットカードの作成が18歳から親の同意なしでできるようになりました。一方で、今まで「成年」を基準に語られることが多かった喫煙や飲酒については、これまで通り20歳を年齢要件としています。この年齢要件の錯誤を懸念して、警察庁や法務省などからは20歳未満の喫煙や飲酒に関する注意喚起が行われています。

今回は弁護士の片山宏之先生とともに、現行法について整理し、目的に沿った情報の発信について考えてまいりたいと思います。

一 最初に、20歳未満の喫煙と飲酒を禁止する法律の内容と成り立ちについて教えてください。

まず喫煙についてですが、「二十歳未満ノ者ノ喫煙ノ禁止ニ関スル法律」(以下「喫煙法」という)は、「未成年者喫煙禁止法」という名称ではありませんが、条文の規定上は20歳未満の者がたばこを吸うことを禁じている(喫煙法1条)ため、未成年か否かを規制の基準としていません。そのため、民法で成年の年齢が18歳に引き下げられたとしても、これに連動して満20歳という年齢要件が引き下げられることはなく、成年となる年齢が引き下げられても、20歳未満の者による喫煙は解禁されません。

喫煙法はかつて、「未成年者の」喫煙を禁じていました。しかし、戦後の民法改正によって、未成年者が婚姻した場合に成年とみなす成年擬制(民法753条)の規定が設けられた際、「婚姻によって成年とみなされるのであれば、喫煙も解禁されるのか」という議論が起きました。このとき、「婚姻により成年とみなされるとしても、20歳未満の者の健康被害を防がなければいけないことには変わりはない」として、婚姻したとしても、満20歳まで喫煙は禁じるべきという結論になりました。こうして喫煙法が改正され、喫煙禁止の対象者は、未成年者から満20歳に至らない者とされました。

次に飲酒に対する規制については、喫煙のそれと共通点が多く、「二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律」(以下「飲酒法」という)が、20歳未満の者の飲酒を禁じています(飲酒法1条)。喫煙法と同じく、かつては「未成年者の」飲酒が禁じられていましたが、

成年擬制の規定が設けられた際、同様に体の発達・健康被害についての議論がなされ、飲酒禁止の対象者が未成年者から満20歳に至らない者となりました。よってこちらも、成年となる年齢が引き下げられても、20歳未満の者による規制は解禁されません。

一 それぞれ20歳未満の喫煙・飲酒を禁止する法律ですが、触法した場合に罰則はありますか？

結論から言いますと、いずれの法律も、20歳未満の者を処罰するような規定はありません。ただ、補導されることはありますし、20歳未満の者が喫煙のために所持するたばこ及びその器具は、行政処分で没収できる(喫煙法2条)ともされています。ただし、喫煙のためではない所持(単純所持)は禁じられていません。したがって、おつかいでたばこを届けるような行為は、規制の対象になっていません。喫煙法では、その周囲の大人に対しての罰則を定めており、「未成年者の親権者や親権者に代わってこれを監督する者が、未成年者の喫煙を知って制止しなければ、科料の制裁を受ける(喫煙法3条)」としています。さらに、「たばこや器具の販売者は20歳未満の喫煙禁止に資するために年齢確認等の措置を採らなくてはならない(喫煙法4条)」 「20歳未満の者が自用に供することを知ってたばこ又は器具を販売した者は罰金に処される(喫煙法5条)」とあり、販売者に対しても罰則を定めています。

お酒に関しては、「20歳未満の者が飲用に供する目的をもって所有又は所持する酒類及び器具については、行政処分で没収等を行うことができる(飲酒法2条)」という条文があり、たばこと同様単純所持は禁止されていません。こちらも20歳未満者への罰則は設けられていませんが、「未成年者の親権者や親権者に代わってこれを監督する者は、未成年者の飲酒を知ったときは制止する義務を負う(飲酒法3条)」という条文があり、やはりたばこと同様、親やその場を共にする大人は未成年者の行動を制止する義務があるとしています。販売者に対しては、年齢確認等をする義務の規定

や、違反者を罰金に処す規定(飲酒法1条4項、4条)が存在し、コンビニなどでたばこやお酒を買おうとすると、年齢確認のボタンを押すよう求められるのは、この法律に則った措置ということになります。

一 法律の誕生から今日までの在り方を見ていくと、少年犯罪などとは異なる観点で成立し、議論されてきたということがわかりました。

そもその立法趣旨は、どちらも若年者の健康被害防止にあるとされていますので、子どもたちには、健康面でのリスクをきちんと知ってもらうことが大切です。周りの大人も、自らが子どもたちの健康を守る責務を有しており、それを怠ったものに対して罰則が与えられるということは、きちんと理解しておかなければなりません。

喫煙や飲酒をすれば一時的に楽しいかもしれませんが、体の健全な成長が害されると、長い目で見たときに不利益がはるかに大きくなります。喫煙に関しては喫煙歴が長いほど、肺がんのリスクが高くなります。飲酒に関しては、飲酒開始年齢が低いほどアルコール依存症になる可能性が高く、記憶力への悪影響なども指摘されています。

一 最後に、片山先生から読者の皆様にメッセージをお願いいたします。

よく言われている「法律で決まっているからダメ」という訴えかけは、分かりやすく、抑止効果もあるかもしれませんが、本来伝えるべきことは少しずれているとも考えられます。なぜ法律で決まっているのか？ それはあなたの体を守り、健康に成長してもらうためだということこそ、真に伝えるべきことであり、理解してもらいたいことだと思います。

学校教育の中で伝えていくことはもちろん大切ですが、情報提供の場面でいうと、成人式などの場を利用した啓発も有効だと思います。成年になったからと、同級生同士の集まりなどでつい羽目を外してしまうということがあり得ますので、そういったシーンで情報提供することで、抑止できる部分はあるように思います。むしろ、そういうタイミングこそ大事だと思います。新しい民法によって18歳で成年になったけれども、だからといって体が完成したわけではなく、あなたの体は今後も成長していく、成長途上のあなたの体を害するお酒やたばこはまだやってはいけませんよ、ということを、いろいろな場所や場面で伝えていってほしいですね。



片山 宏之

略歴

2012年より弁護士となり、今年で11年目。片山法律事務所所長。

関連教材のご案内

355

**たばこが健康か？
たばこの本当の姿を知ろう**

「たばこが健康か？たばこの本当の姿を知ろう」は、喫煙の健康被害を伝えるだけでなく、喫煙の歴史や文化、喫煙者の心理など、多角的に喫煙について解説しています。また、喫煙の健康被害を減らすための対策についても詳しく解説しています。

356

**いろいろなたばこの害
たばこは毒の坎ヅメ**

「いろいろなたばこの害 たばこは毒の坎ヅメ」は、喫煙の健康被害を伝えるだけでなく、喫煙の歴史や文化、喫煙者の心理など、多角的に喫煙について解説しています。また、喫煙の健康被害を減らすための対策についても詳しく解説しています。

417

**20歳未満の飲酒
どうしていけないの？**

「20歳未満の飲酒 どうしていけないの？」は、飲酒の健康被害を伝えるだけでなく、飲酒の歴史や文化、飲酒者の心理など、多角的に飲酒について解説しています。また、飲酒の健康被害を減らすための対策についても詳しく解説しています。

418

お酒を飲むとどうなるの？

「お酒を飲むとどうなるの？」は、飲酒の健康被害を伝えるだけでなく、飲酒の歴史や文化、飲酒者の心理など、多角的に飲酒について解説しています。また、飲酒の健康被害を減らすための対策についても詳しく解説しています。

【紙ファイル】
■仕様：A4判 [220×310mm]
／オールカラー
■税込価格：1部当たり330円
※100部単位でのお申し込みとなります
※名入れ印刷無料

新登場

3つのメリット

- ①厚紙なので破れにくく、折れにくい
- ②紙製なので直接書き込める
- ③環境に配慮したエコ仕様

【パネル】
■仕様：A1判／特殊紙使用／アルミフレーム
留め金・掛けひも付き
■税込価格：14,300円 ※名入れ印刷 別途1,100円

【ポスター】
■仕様：A1判／特殊紙使用
■税込価格：9,900円 ※名入れ印刷 別途1,100円

【掛図】
■仕様：A1判／特殊紙使用／掛けひも付き
■税込価格：12,100円 ※名入れ印刷 別途1,100円

【指導箋】
■仕様：A4判／オールカラー
※100枚単位でのお申し込みとなります
■価格はお問い合わせください ※名入れ印刷無料



大規模インターネット調査からみえた 現代女性のデリケートゾーンのお悩み

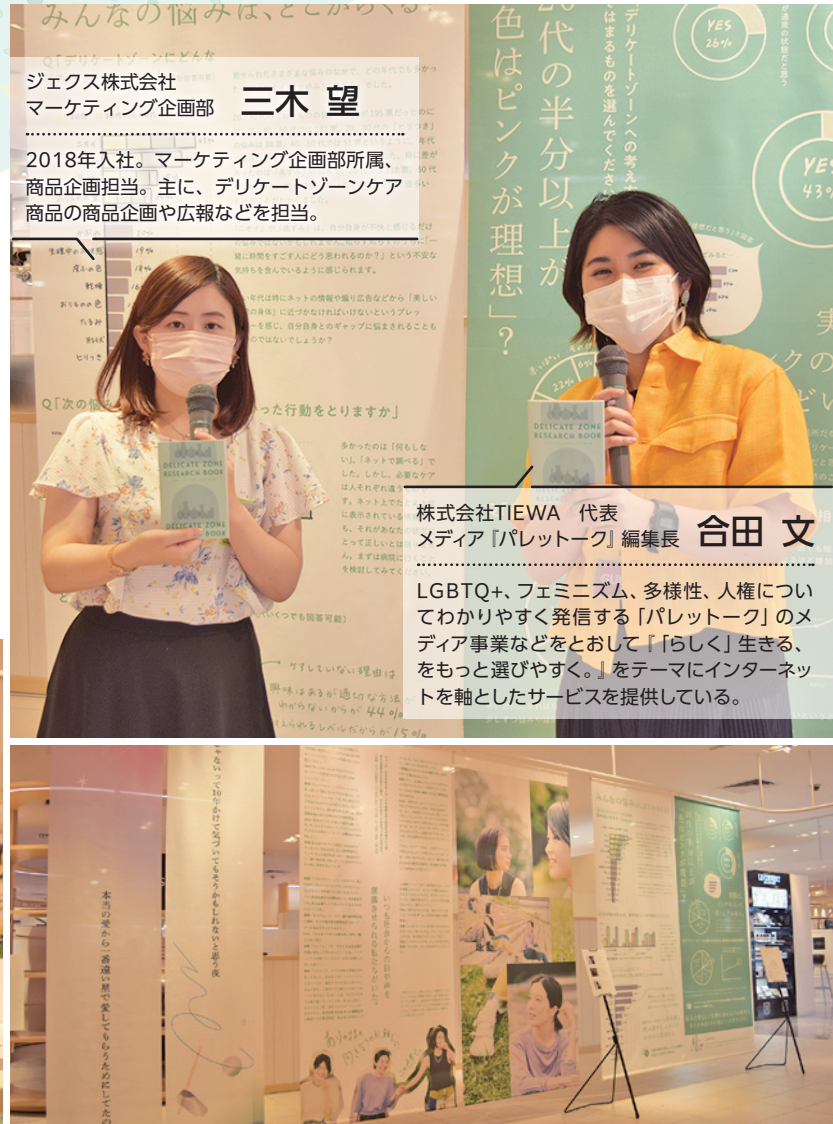
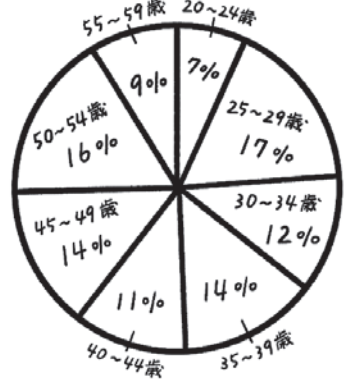
7月27日から8月2日にかけて、ジェクスデリケートケア研究会による「デリケートゾーンの調査から読み解く特別展示会 REFIND YOUR WAY」が大阪の大丸梅田店にて開催されました。

本紙面では、7月27日に行われたジェクス株式会社三木氏とパレットーク合田氏によるトークイベントの様子の一部をご紹介します。現代女性のお悩みに迫ってまいります。

調査概要

- 対象 デリケートゾーンに悩みがある
全国の20～59歳女性
- 時期 2022年4月
- 方法 ネットリサーチ
- 人数 987名
- 小数点はすべて繰り上げて表記いたします。

今回調査を行った方の年齢層

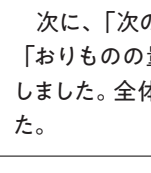


女性はどうなことに悩み、どう向き合っているのか

まずはじめに、デリケートゾーンにどんな悩みがあるかを聞いてみました。複数回答可としたところ、女性の悩みが多岐にわたっていることが分かりました。「におい」「かゆみ」「黒ずみ」「おりものの量」「ムレ」「かぶれ」「生理中の不快感」「皮ふの色」「乾燥」「おりものの色」「たるみ」「形状」「ヒリつき」といったお悩みがある中で、いずれの年代においても上位に入っていたのが、「におい」「かゆみ」「黒ずみ」でした。



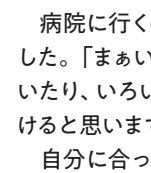
年代別に見てみると、20～30代の方に多い「おりものの量」や「黒ずみ」というお悩みが、40代、50代と年齢が進むに連れて少なくなっています。「おりものの量」は50代を過ぎると減っていくので、体の変化がデータにも表れていますね。



次に、「次の悩みがあるとき、まずはどういった行動をとりますか?」という質問で、「おりものの量」「におい」「かゆみ」で悩む方に、どんな行動をとっているかお聞きしました。全体的に「ネットで調べる」「何もしない」という回答が多い結果となりました。



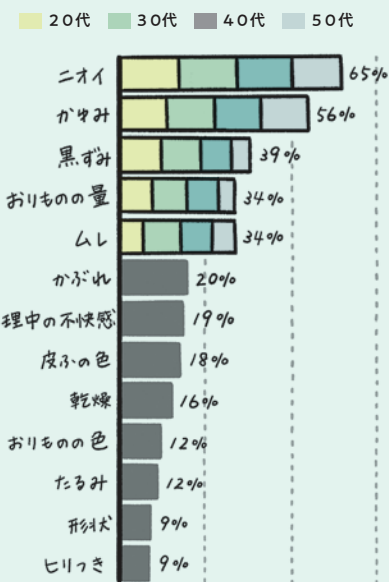
ネットで調べて自己解決できる答えが欲しい方もいらっしゃると思いますが、検索の上位に上がってくるサイトや情報が、必ずしも正しいとは限らないので注意が必要です。「薬局で市販薬を買う」という回答は、「かゆみ」が一番割合が高く、かゆみ止めを購入されていると思われます。改善が見込まれれば良いのですが、かゆみ止めは一時のかゆみを抑制するもののため、根本的な解決になっていない可能性があります。「病院・クリニックへ行く」という方はかなり少ない結果ではありますが、間違った方法を実践し続けると、悪化してしまうこともありますので、一番のおすすめは病院に行くことですね。



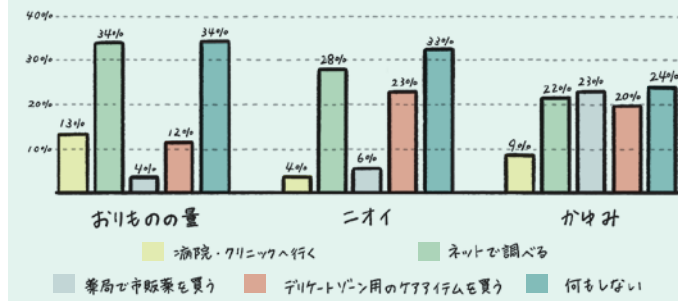
病院に行くのは私も腰が重かったのですが、結果的には足を運んで良かったと思いました。「まあいっか」でやり過ごしたり、「我慢すればいい」と思って一人で悩みを抱えていたり、いろいろ調べたりして時間や労力を費やすよりも、結果的には早く解決に近づけると思います。自分に合った正しい情報を得て実践できれば、何歳からでも快適さは獲得できると思います。



Q「デリケートゾーンにどんな悩みがありますか。」 (複数回答可能)

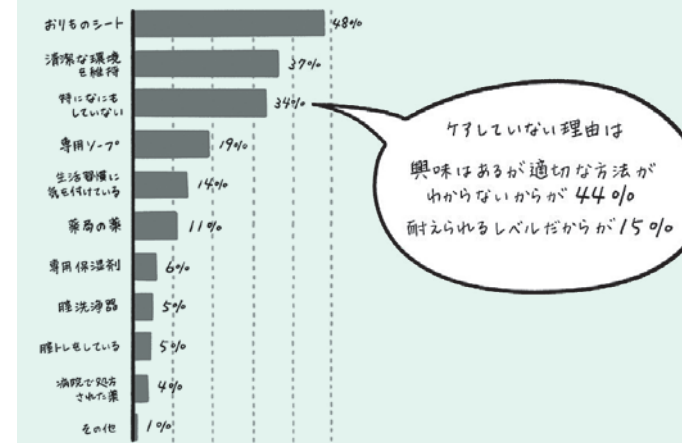


Q「次の悩みがあるとき、 まずはどういった行動をとりますか?」

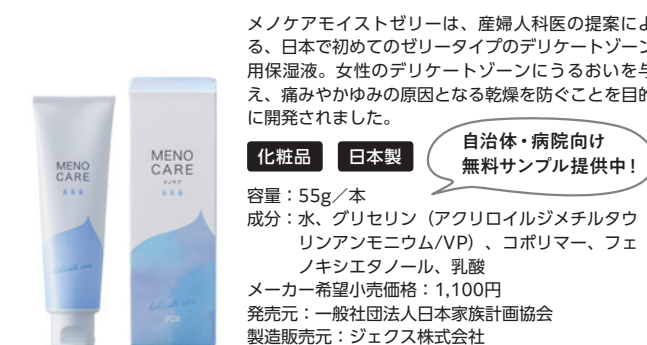


洗い過ぎは要注意 デリケートゾーンも保湿ケアを

Q「デリケートゾーンについて、どのようなケアを行っていますか?」(いくつでも回答可能)



ケアしていない理由は
興味はあるが適切な方法が
わからないからで 44%
耐えられるレベルだから 15%



- 高い保湿力を備え、長時間うるおいが持続
- 無香料・無着色・無色透明・パラベン無添加
- デリケートゾーン周辺の肌に優しい弱酸性

容量：55g/本
成分：水、グリセリン（アクリロイルジメチルタウリンアンモニウム(VP)、コポリマー、フェノキシエタノール、乳酸

メーカー希望小売価格：1,100円
発売元：一般社団法人日本家族計画協会
製造販売元：ジェクス株式会社

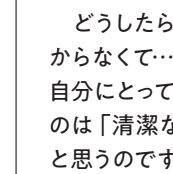
自治体・病院向け
無料サンプル提供中!

詳細は
こちら

「デリケートゾーンについて、どのようなケアを行っていますか?」という質問もしました。「おりものシート」を使っているという回答が48%と最も多く、次いで「清潔な環境を維持」が37%、「特に何もしていない」が34%となりました。「何もしない」という方の割合は、先ほどの調査結果とつながりが見えますね。



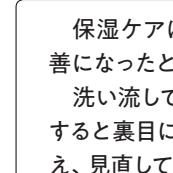
何もしていない理由で一番多かったのが、「興味はあるんだけど、適切な方法が分からない」という回答で、44%にのぼりました。また「耐えられるレベルだから」と回答された方も15%いらっしゃいました。



どうしたら良いか分からないから、とりあえずネットで調べてみて、でもやっぱり分からなくて…というのはありますね。自分の持っている知識やネットの情報だけで、自分にとっての正解を導き出すのは容易ではないと思います。私が個人的に注目したのは「清潔な環境を維持」で、一般的に、手や顔を洗うときはソープでしっかり洗うと思うのですが、デリケートゾーンも同じように洗って良いのでしょうか?



入浴時だけでなく、お手洗いの際にもいえるのですが、デリケートゾーンは洗い過ぎると、大事な常在菌まで洗い流してしまうことがあります。洗いは水でバシャバシャ程度で良く、そのあとに顔やボディと同じように、保湿をしてあげることが大切です。保湿が十分でない、乾燥でかゆみが生じてしまうことがあります。保湿剤はメノケアモイストゼリーのようにデリケートゾーン用として開発されたものを選んでいただけると間違いないかと思います。



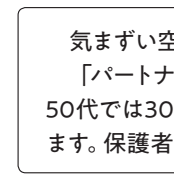
保湿ケアは大切です。私もメノケアを使い始めてからだいぶ心地良く、環境改善になったと感じています。洗い流してきれいにしよう、かゆみを払拭しようと考えがちですが、過剰に清潔にすると裏目に出ることもあるので、今までルーティンとしてやってきたことを改めて考え、見直してみることも大事ですね。

デリケートゾーンの悩みは相談しづらい?

「デリケートゾーンに悩みがあるとき、誰であれば相談できますか?」という質問ですが、正直に相談できるという方は少なく、「誰にも相談したくない」という方が33%と、3人に1人の割合でいらっしゃいました。



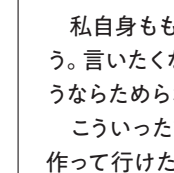
結構多いですね。身近な人に話すのは恥ずかしいと思ってしまうというのはよく理解できます。「医者」という回答は23%となっていますので、相談するならば、正しい知識を持っていて、的確な診断・アドバイスが期待できるお医者さんが良いということですね。



気まずい空気にしちゃうかもしれないという懸念もありますよね。「パートナーの一部でも相談できる人」の割合は、年代が低い方が多くなっています。50代では30%台ですが、20代だと半分以上の方がパートナーに相談できると回答しています。保護者の方に対しても、相談できるという方が増えているという結果が出ました。



今日のイベントでお話させていただいた方も、自分たちが20代の頃にはタブー視されていたことがいっぱいあったけれども、こういった調査結果がオープンに語られるようになり、社会全体が変わってきていることを実感すると仰っていただきました。帰ったら家族と話してみようかなという方もいらっしゃいました。



私自身ももっと周りの人とライトに話をしたいなと思いました。私は「言いたかったら言う。言いたくなかったら言わない」という選択、意思決定が自分ででき、話して解決に向かうならためらわずに話す・相談できる世の中が良いなと思います。こういった調査をきっかけにして、周りの人と気軽に話してみたりできる、そんな土壌を作って行けたらと思います。



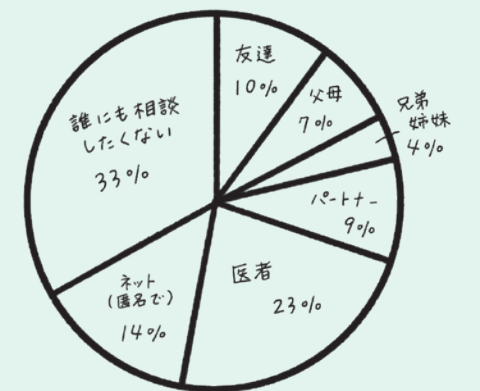
徐々に社会全体が変化してきているというのは私も感じっていますが、まだまだ性に関して公に語られることがはばかれるという雰囲気もあります。玉石混交の情報が氾濫している今、間違った情報を信じてしまったり、苦しんだり、悲しい思いをされる方の一助になれるよう、今後も調査やメディアを通じて、お役に立てる情報を発信していきたいです。

取材を終えて

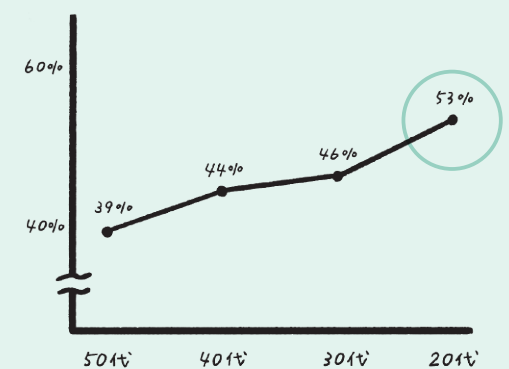
先に紹介されたメノケアモイストゼリーのような「フェムテック・フェムケア」(女性のライフステージ・健康課題を解決するためのサービスや商品の総称)市場の盛り上がりも相まって、会場には世代を問わず多くの方が来場、展示会は盛会裏に終了いたしました。トークイベントでも述べられたように、性に関する話題が語りやすい雰囲気

気は着実に醸成されてきており、本会が創立から取り組んできた「SRHR(セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ:生涯を通じた性と生殖に関する健康と権利)」の向上は、今回のイベントのみならず、そこかしこで感じられるようになってきています。本会はこれからも、SRHRの更なる推進に寄与しつつ、志を一にする企業・団体の取り組みを応援してまいります。(編集部)

Q「デリケートゾーンに悩みがあるとき、誰であれば相談できますか?」



Q「性生活の悩みをパートナーに相談できる?」 「性生活に悩みがある」人のうち 「正直に相談できる/一部を相談できる」と回答した人の割合



日頃からの啓発からいざというときの備蓄まで 母子保健の視点で考える災害への備え

万一の災害に備えた備蓄等の取り組みにおいて、女性視点での対応が徐々に広まってきています。ここでは、母子保健にフォーカスして制作された防災啓発教材や、自治体や病院等で備えておきたいおすすめ商品をご紹介します。



090101 あかちゃんとママを守る 防災ノート

妊産婦や乳幼児のいる家庭ならではの防災情報とノートを一冊に。情報ページを読みながら、備蓄品等のチェックリスト、各種避難先などを記入することで、必要な準備を整えることができます。

【仕様】 A4判/24ページ/オールカラー
【税込価格】 220円/部



010007 アイクレオ 赤ちゃんミルク

調乳なしでそのまま飲めるので、誰でも簡単に授乳できます。紙パックなので、軽く、場所を取らずに保管できます。「無菌パック製法」により、長期で常温保存が可能です(納品から約6か月)。

【仕様】 24本入ケース
【税込価格】 3,888円/ケース

定期配送も
承ります
※詳細はお問い合わせください

204295 大切な赤ちゃんを守るために ベビー防災®

災害時の清潔保持やトイレの問題といった、日常から考えておくべき防災対策方法などを掲載しています。

【仕様】 A4判/観音開/オールカラー
【税込価格】 55円/部



204296 じゅえんりょく 受援力ノススメ

災害時だけでなく、育児期や仕事、介護等、さまざまなシーンで必要となる「受援力」(助けを求め、助けを受ける心構えやスキル)を身に付けられます。

【仕様】 A4判/観音開/オールカラー
【税込価格】 55円/部

020225 紙パック用乳首 ChuChu (備蓄用)

紙パックに装着してすぐに飲むことができるので、液体ミルクと併せた備蓄に最適です。乳首は月齢を問わず使用可能です。

【仕様】 100個入ケース、サイズ: 幅560×奥行400×高さ210mm、重量: 41g (1個当たり)
【税込価格】 49,500円/ケース



020220 備蓄用ほ乳ボトル チューボ

消毒不要ですぐに使用できる使い切りほ乳ボトル。伸ばして使うジャバラ式で、省スペースで備蓄できます。

【仕様】 1ケース96個入り/容量: 250ml、サイズ: 高さ76×幅65×奥行65mm、重量: 46g (1個当たり) ※24個入りもございます
【税込価格】 24,288円/ケース

020254 ダンボール授乳室

常設にも耐える安心・安全な授乳室です。コンパクトな梱包なので、備蓄にもおすすめです。避難所等での授乳スペース確保にお役立ていただけます。

【仕様】 梱包サイズ: 幅990×奥行60×高さ1,045mm (2箱) + 幅1,080×奥行250×高さ190mm (1箱)
組立サイズ: 幅1,040×奥行1,040×高さ1,950mm (13kg)
※2コマ型・3コマ型もございます
【税込価格】 41,800円/ケース



ご活用事例紹介

備蓄以外に
こんな使い方も…

丹波市では令和3年4月から、4か月児健診時に、液体ミルクやほ乳ボトル、「ベビー防災」リーフレットなどをお渡しし、ご自宅での災害への備えについての啓発を行っています。ただ情報をお伝えするだけでなく、実物をお渡しして使用していただくことで、自分ごと化してもらいやすくなります。

020250 ベビー防災® 包括ケアセット

妊産婦に役立つ「減災」のためのセットです。災害発生から自治体の支援体制が整うまでの72時間を、被害をできるだけ小さくしながら生き抜くための準備をひとまとめにしてご提供いたします。

【仕様】 大型吸収マットやアルミブランケットなど15点セット
【税込価格】 27,500円/セット



妊婦と子どもに寄り添った準備ができているかチェック！

第6回 災害時の妊産婦支援セミナーのご案内

日頃から入念な備えを必要とする妊婦・子育て世帯の災害支援を学ぶセミナーです。平時/発災時/亜急性期/慢性期/復興期の各時期に支援者が配慮することを時系列に講義するので、災害支援初任者もやるべきことが整理しやすい内容となっています。

災害時の食の支援の
重要性と実際に学べる！

講師

吉田 穂波

(神奈川県立保健福祉大学
ヘルスインベーション研究科 教授)

笠岡(坪山) 宣代

(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所 国際災害栄養研究室 室長)

【配信期間】 2023年2月27日(月) 正午～3月13日(月) 23:59

【受講料】 11,000円(税込)

【対象者】 保健師、助産師、看護師、医師、薬剤師、保育士、教員、管理栄養士、栄養士など

【申込方法】 本会ホームページセミナー一覧よりお申し込みください
(申込締切日: 2023年1月27日(金))

特典

- ①あかちゃんとママを守る 防災ノート
 - ②受援力ノススメ
 - ③こどもアレルギーブック
 - ④アイクレオ赤ちゃんミルク
- を各1点プレゼント！



本会の『教材・備品カタログ』を無料で差し上げます。
ご希望の方は左記QRコードよりお申し込みください。